

団体概要書

(その1)

団体名	公益財団法人 大槻能楽堂	団体の種別 ※いずれかの の□にチェックしてく ださい。	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input checked="" type="checkbox"/> 公益財団法人 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 認定NPO法人 <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) りじちょう おおつきぶんぞう 理事長 大槻 文蔵		
主たる事務所 の所在地	大阪市中央区上町A番7号		
設立年月	1948年 5月	構成員数	
事業年度	4月 1日 から 3月 31日		
団体の活動 目的	我が国古来の伝統芸能の振興及び普及を図るため、能楽の公演及び能舞台等の公開を行うことにより、民族的古典芸術の保存発展に貢献し、もって我が国の文化の向上に寄与すること。		
活動分野	9 能楽		
主な活動内容	<p>世界無形文化遺産である我が国の舞台芸術「能楽」を広く一般に公開し、伝統芸能の振興及び文化・芸術の普及に寄与するため、当法人が企画した公演等上演し、また、所有する能舞台等を貸与する活動を行っている。</p> <p>1. 伝統芸能「能楽」の振興と普及のため、自主公演能等を上演し、広く国民一般への理解に資する事業</p> <p>(1) 自主公演能事業 1984年4月より毎月開催。2022年に公演700回を迎える。</p> <p>(2) 学生鑑賞能事業 小・中・高校生対象の主催公演、文化庁主催の学校巡回公演など</p> <p>(3) 委託公演能事業 「篠山春日能」「有馬能」など</p> <p>(4) 見学体験教室事業 謡曲教室、能舞台見学・能楽解説など</p> <p>2. 伝統芸能の振興及び普及を目的とする団体などに施設及び装束等を提供する事業</p> <p>3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業</p>		
これまでの主 な活動実績	<p>1935年 大槻能楽堂の前身となる、大槻清韻会能楽堂(木造)を設立。</p> <p>1948年 財団法人大槻清韻会能楽堂を設立。</p> <p>1959年 大規模改装。1980年 鉄筋に改装。1983年 舞台抜き。</p> <p>1984年 大槻能楽堂主催の自主公演能を開始。</p> <p>2011年 内閣府より認定をいただき、公益財団法人大槻能楽堂となる。</p> <p>2014年 大槻能楽堂の「能舞台」が登録有形文化財(建造物)に登録される。</p> <p>2020年 令和の大改修により、客席、空調・音響設備などをリニューアル。</p>		
機関紙	有 (URL https://noh-kyogen.com) / 無		
機関紙	有 (機関紙名 おもて) / 無		

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<p>能楽の持続可能な発展に向けて</p> <ol style="list-style-type: none">1. 新しい観客層との接点づくり2. 言語的・物理的なバリアフリー化について3. 次世代を担う若手能楽師の育成について4. 国登録有形文化財である「能舞台」の活用について5. PR活動について
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>伝統と革新が響き合う文化創造の拠点として 一大槻能楽堂の新たな挑戦</p> <p>上方・大阪の歴史ある町「上町」に根づく大槻能楽堂は、世代を超えて受け継がれてきた日本の伝統芸能の神髄を今に伝えていきます。私たちは、能楽の本質的な価値を守りながら、より多くの方々にその魅力を届けることを使命としています。</p> <p>能楽堂という荘厳かつ親密な空間を活かし、能楽を中心としながらも、文楽・歌舞伎・落語といった日本の伝統芸能から、現代演劇・舞踊まで、多様な文化芸術の発信拠点として新たな可能性を追求してまいります。</p> <p>大阪能楽会館の閉館により、上方における中規模能楽堂としての大槻能楽堂の役割は、これまで以上に重要性を増しています。劇場としての機能を充実させながら、伝統芸能の継承と革新的な文化創造の両立を目指します。</p> <p>ユネスコ世界無形文化遺産第1号に認定された能楽は、700年の歴史を経た今なお、普遍的な人間の真理を映し出し続けています。大槻能楽堂は、大阪における能楽の本拠地として、また現代に生きる文化施設として、伝統の重みと未来への可能性を胸に、その使命を果たしてまいります。</p>
<p>市民等寄附者に対するPR</p>	<p>継承と創造の架け橋へ 一大槻能楽堂支援のお願い</p> <p>大阪の誇る文化遺産であり、大阪市内唯一の戦禍を乗り越えた能楽堂として歩みを続けてきた大槻能楽堂。この貴重な文化空間は、伝統の継承と新たな文化創造の両面で、かけがえのない役割を担っています。</p> <p>私たちは、本格的な能楽公演を通じて日本の伝統芸能の神髄を伝えるとともに、この歴史ある空間を活かして、さまざまな文化活動の拠点として発展させていく所存です。</p> <p>しかし、この使命を果たすためには、市民の皆様のお力添えが必要です。能楽を次世代へ確実に継承し、さらに日本の多様な芸能の発信拠点として活用を広げていくため、皆様からのご支援を謹んでお願い申し上げます。</p>